

宮代町郷土資料館だより

えんがわ

第16号

平成11年度企画展

『古代の道仏ムラと姫宮神社古墳』

古墳時代は、仁徳天皇陵やさきたま古墳群などで代表されるように、大規模な古墳が造られた時代といわれていますが、宮代町では小規模な古墳がたくさん密集する姫宮神社古墳群が知られています。これらはいずれも、その地域を代表する豪族や首長（ムラ長）の墓であるといえます。

では、これら豪族や首長に治められていた庶民はどこにいたのでしょうか。それは、発掘調査により日本全国でたくさんの庶民が生活した跡である「ムラ」が発掘されています。この宮代町でも、山崎遺跡、道仏遺跡など町内数か所の遺跡で庶民の生活を物語る家の跡や生活道具・祭祀道具などが発掘されました。

今回の展示では、古代のムラが発掘された道仏遺跡、そして同じ時代に造られた姫宮神社古墳にスポットをあて、古代の宮代の復元をテーマに模型やパネル、出土遺物などを展示いたしました。また、杉戸町や春日部市の古墳出土の埴輪などもあわせて紹介します。

期間 8月17日（火）～10月24日（日）

会場 宮代町郷土資料館特別展示室



夏休み体験学習教室「進修学校」を開催

今年の夏も夏休み体験学校教室「進修学校」を開催しました。期間は4日間で、7月28日は「お手玉づくり」、29日は「石臼をつかった団子づくり」、30日は「凧づくり」、31日は「竹馬づくり」を行いました。お手玉づくりと凧づくりは資料館の会議室で、石臼をつかった団子づくりは資料館のかやぶき民家旧加藤家の土間で、竹馬づくりは旧斎藤家の庭で行いました。

この中で特に子供たちに人気があったのが、旧加藤家の土間で行った石臼をつかった団子づくりでした。石臼で米をひいて、それを丸めて団子にして、土間にあるカマドでそれをゆでて食べる。これらのほとんどの作業を子供たちが行いました。欲しいモノがお金を出せば何でも手に入り、自分の手でモノを作らなくなった現代人。参加した子供は慣れない手つきで取り組んでいましたが、皆、手作り

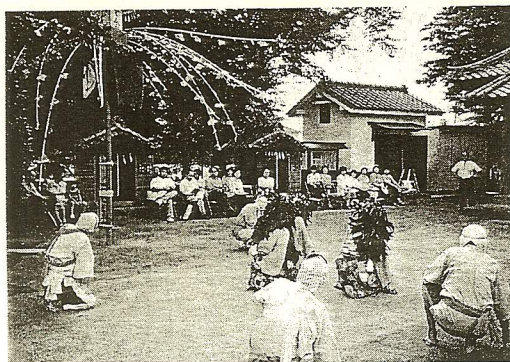
する喜びの表情にあふれていました。初めての体験ばかりで、大変なこともたくさんありますが、つくりあげた時には、大きな達成感や充実感があります。それはとても大切なことです。この夏の体験学習をこれからの生活に役立て、大きく成長していったほしいと願っています。来年の夏も、体験学習「進修学校」を開催する予定です。そして、より多くの小学生に達成感や充実感を味わっていただきたいと思います。



みやしろの祭り 見学会 東条原獅子舞

夏は宮代の各地区で祭りが行われます。郷土資料館では初めての試みとして「みやしろの祭り見学会」を実施し、町指定無形民俗文化財の東条原の獅子舞を見学しました。7月18日の祭礼に奉納される獅子舞を見学するために集まった参加者は、町内外から25名。おりしも梅雨明け前の不安定な空模様。雨の上がるのを待って始まった村回りでは神社の東側を通る鎌倉街道を獅子の一行とともに歩き、鳥居の前での門がかり、合

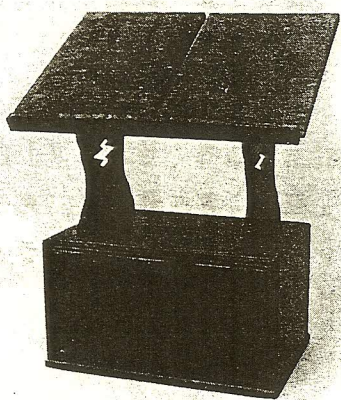
祀社の前の練りこみを見学。そしていよいよ鷲宮神社に奉納される獅子舞です。今年は梵天、綱、隠し、平庭の4演目。いずれも優雅であって力強い舞でした。綱は須賀中学校文化保存委員会による舞で、今年は三匹の獅子を女生徒が舞いました。参加者は獅子舞保存会会長の解説を聞きながら獅子舞に見入っていました。「宮代町に住んでいますがこのような獅子舞があることを知りませんでした。今日は参加して良かったです。」「このような伝統芸能を守っていくことの大変さがわかりました。これからも後世に伝えていってほしいです。」などの声。町で唯一の獅子舞をより多くの方に知っていただく機会となったようです。郷土資料館ではこれからも町内の伝統的な祭りを肌で感じる見学会を実施していきたいと考えています。



収蔵資料の紹介

しよけんたい 書見台

書見台は、見台ともいわれ書物や譜面などをのせ読見するときに便利にした道具です。歌舞伎や人形芝居などで浄瑠璃太夫が出演し浄瑠璃を語るときの床本の置台としても使用されるようにもなりました。起源ははっきりとはわかりませんが、室町時代には使われていた様です。資料館で収蔵している写真の書見台は特に装飾されていませんが、種々の装飾などがほどこされたものもあり、なかには蒔絵がほどこされているものもあります。



今回紹介する書見台は西条原にある矢部家から寄贈されたものです。宮代町には江戸時代の終わりから明治初期にかけて多数の寺子屋や私塾があり、西条原の矢部家にあった寧俟義塾（漢学塾）もその私塾の一つでした。矢部家の先祖である矢部造酒之丞は嘉永五年（一八五二）に生れ、大正十二年七十二歳で没しています。六歳で、蓮田の友賢に学び、後に江戸に出て福沢諭吉の門に入り学びました。明治初年、自宅に寧俟義塾を開き朱子学派の幕府儒者、和氣天造を招くなどして教授しました。そして明治六年に学制施行と共に閉塾となりました。

この書見台はその私塾で実際に使われていたと思われる大変貴重なものです。

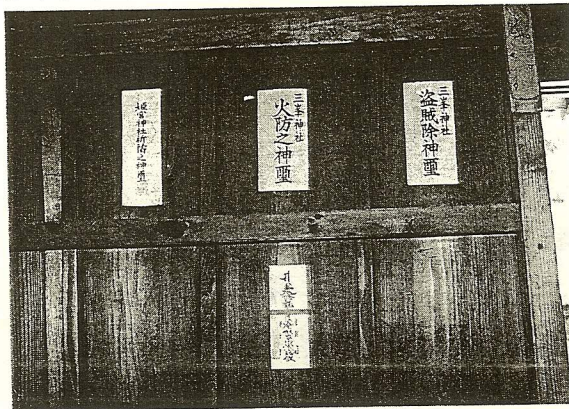
これなんだべな

郷土資料館の旧斎藤家の大戸（玄関の板戸）の裏をみるとお札が4枚、貼ってあります。「三峰神社盗賊除神璽」「三峰神社火防之神璽」「姫宮神社祈祷神璽」「浅草寺観音護摩供家内安全」と書かれたお札です。このようにお札を玄関や勝手口に張る家は宮代町には多く見られます。特に多いのは「櫛磐問門命・豊磐問門命守護」と書かれたお札です。これは「くしいわまどのみこと・とよいわまどのみことしゅご」と読みます。神の名前に見られる「まど」とは窓のことではなく、真門（まど。門を意味する古語）のことです。この神の別名は天石門別神（あめのいわとわけのかみ）といい、御門を守護する神です。この札を貼ることにより外からやってくる泥棒や災難を除けようとしたのです。このようにお札には神仏の名を書いたもの、護摩・祓いなどを行ったことを

守り札

示すもの、火防や盗賊除けなど、目的を明記したものがあありますが、いずれも正月に氏神様からいただいたり、三峰講などの代参講でいただいきたりして貼りました。

旧斎藤家の大戸のお札が、いつごろ貼られたのか知るすべはありませんが、今も斎藤家を守り続けていることは確かなことです。



特別展「江戸時代の旅と絵馬」

今回の特別展では、庶民の楽しみであり、信仰の対象でもあった伊勢参宮や善光寺詣などの江戸時代の旅にスポットをあて展示する予定です。展示資料は、旅に出た人々が道中で使った道具や詳しい内容が書かれた道中日記、箱根の関所などを通過する際必要であった手形、奉納した絵馬などを展示する予定となっています。また、姫宮神社に奉納されている「渡し場」の絵馬は安藤広重作東海道五十三次金谷宿の浮世絵を模写したことが判明しました。これは非常に珍しいものです。

この特別展にあわせまして、講演会「江戸時代の旅にみる浮世絵と絵馬」や講座「道中日記にみる江戸時代の旅」、体験学習「絵馬づくり教室」を開催する予定です。

期間 11月2日(火)～12月12日(日)

会場 宮代町郷土資料館特別展示室

資料寄贈者名簿

平成11年6月から7月までに、下記の皆様が郷土資料館へ歴史や文化に関する資料をご提供いただきました。厚く御礼申し上げます。(50音順)

谷 関 良 氏 書籍 ほか

宮野紀一氏 古写真・ネガ

ご提供いただきました資料は今後、企画展等でご紹介させていただきます。今後も、昔を物語る様々な資料を収集してまいります。ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

コラム くるみの木

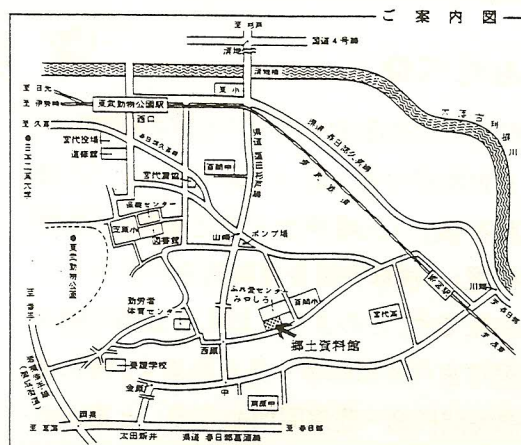
◆今年も進修学校が開催されました。参加した小学生たちは、汗だくになって昔の暮らしを体験しました。石臼をつかった団子づくりでは、少しざらざらした食感の団子を「おいしいね、おとうさんのおみやげにするんだ」と、とても喜んでいたのが印象的でした。◆かまどの匂いとともに、いつまでも夏の思い出として胸にしまっておいてくださいね。

資料館日誌抄

《平成11年》7/1～8/31

- 7. 1 町史編集委員会議
- 7. 8 町史考古部会
- 7. 9 町史文献部会
- 7. 18 最新出土品展遺跡発表会
(埼玉県立博物館)
みやしろの祭り見学会
- 7. 21 須賀遺跡試掘調査(～7. 29)
- 7. 28 夏休み体験学習教室「進修学校」
(～7. 31)
- 8. 2 姫宮神社古墳測量調査(～8. 8)
- 8. 3 春日部市郷土資料館学芸員実習見学
かやぶき民家で昔話を聞く会
- 8. 4 縄文土器づくり教室(18・25)
- 8. 15 企画展「新収蔵品展」終了
- 8. 17 企画展「古代の道仏ムラと姫宮神社古墳」開始(～10.24)

※ この他、民俗調査、金石調査などを行っています。



宮代町郷土資料館だより えんがわ 第16号

発行日 平成11年9月1日

発行 宮代町郷土資料館

〒345-0817

埼玉県南埼玉郡宮代町字西原289番地

TEL 0480-34-8882

HP <http://www1.sphere.ne.jp/miyasiro/musiam/top.html>